



2025年1月期 第1四半期

# 決算説明資料

株式会社鎌倉新書 (6184) | 2024年6月13日

つながりは、いつもここに



# 目次

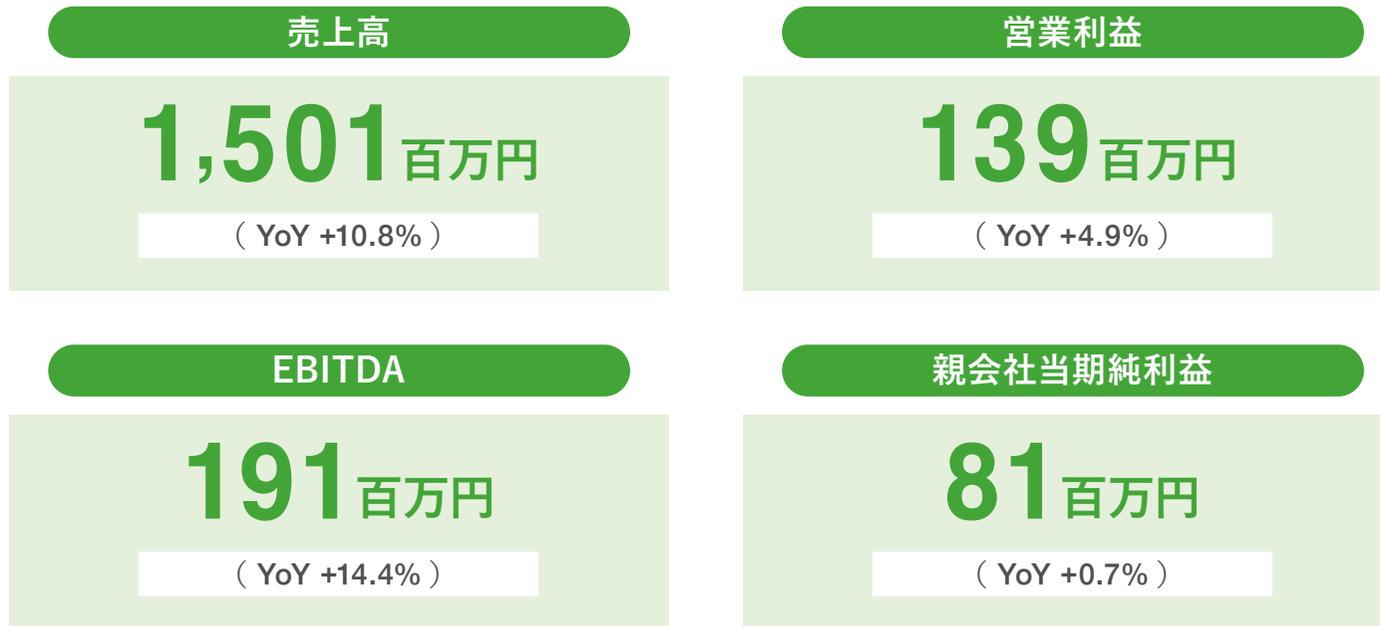
---

## 1 連結決算概要

## 2 中期経営計画(2025年度～2027年度)

## 3 会社概要

## 2025年1月期 第1四半期決算 エグゼクティブサマリー



**ハイライト** 売上高は前年同期比+10.8%の1,501百万円、営業利益は同+4.9%の139百万円で着地。例年通りのスロースタート。

**打ち手** 成長事業と位置付けているアセットマネジメント事業と介護事業の一時的な伸び悩みが課題。別掲のリカバリー策を行い、安定的にスタートを切った既存事業と併せて通期でのキャッチアップを見込む。

# 1 連結決算概要

## ハイライト：連結決算概要及び通期計画に対する達成率

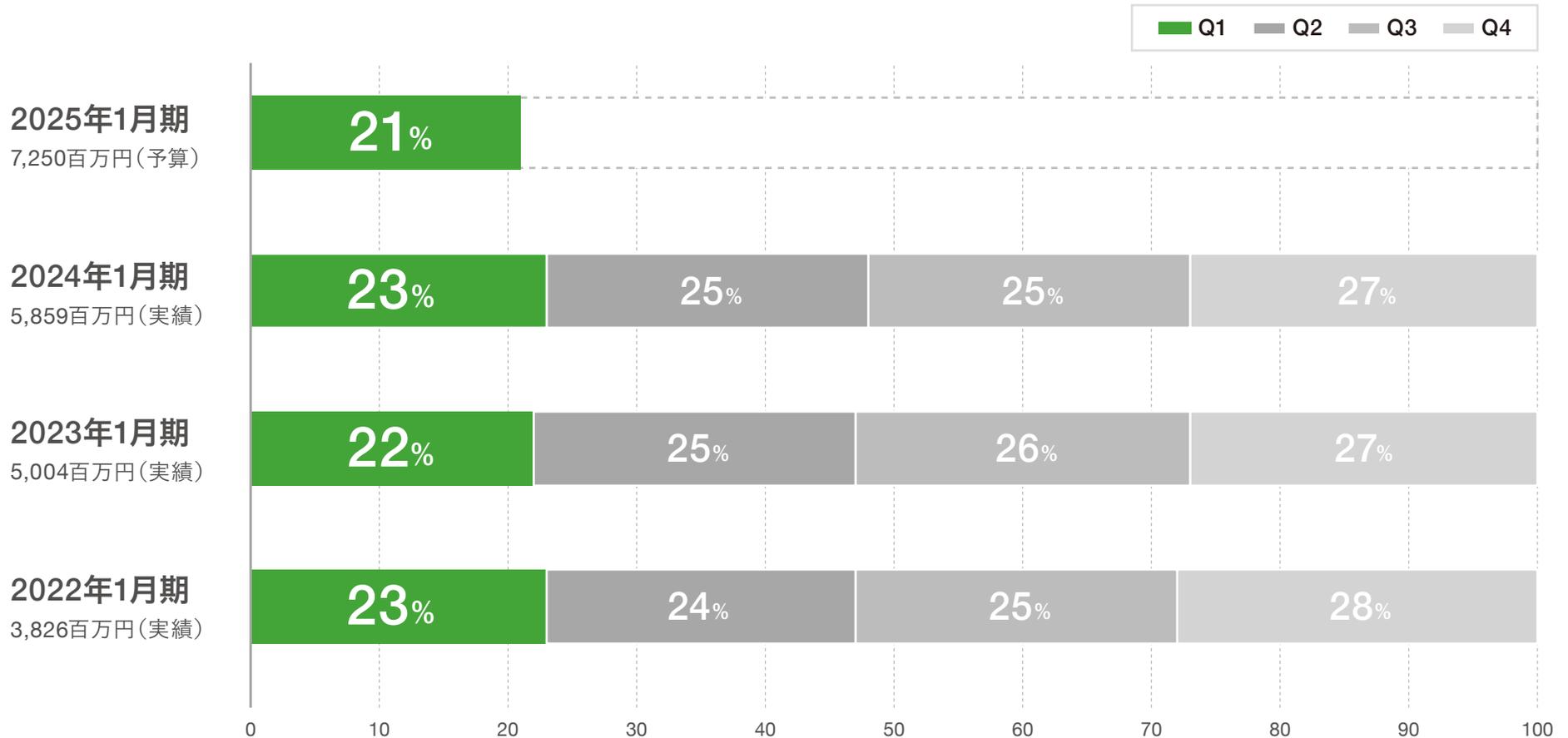
	(百万円)	2024年第1四半期	2025年第1四半期			2025年1月期	2025年1月期		
		実績	実績	増減額	前年同期比	計画	達成率		
連結業績	連結売上高	1,354	1,501	+146	+10.8%	7,250	20.7%	既存事業	
	お墓 + 仏壇	567	593	+26	+4.6%	2,630	22.6%		
	葬祭	282	322	+40	+14.2%	1,296	24.9%		
	アセットマネジメント	201	213	+11	+5.8%	1,146	18.6%		成長事業
	介護	135	140	+5	+3.9%	738	19.1%		
	官民	88	130	+41	+46.5%	852	15.3%		
	その他	78	100	+21	+28.1%	588	17.1%		
	連結営業利益	133	139	+6	+4.9%	1,100	12.7%		
	連結営業利益率	9.9%	9.3%	—	▲0.6pt	15.2%	—		
	EBITDA	167	191	+24	+14.4%	1,330	14.4%		
連結経常利益	129	139	+9	+7.1%	1,095	12.7%			
親会社当期純利益	80	81	+0	+0.7%	770	10.5%			

## 1 連結決算概要

### ハイライト：通期計画に対するQ1の進捗状況（売上高）

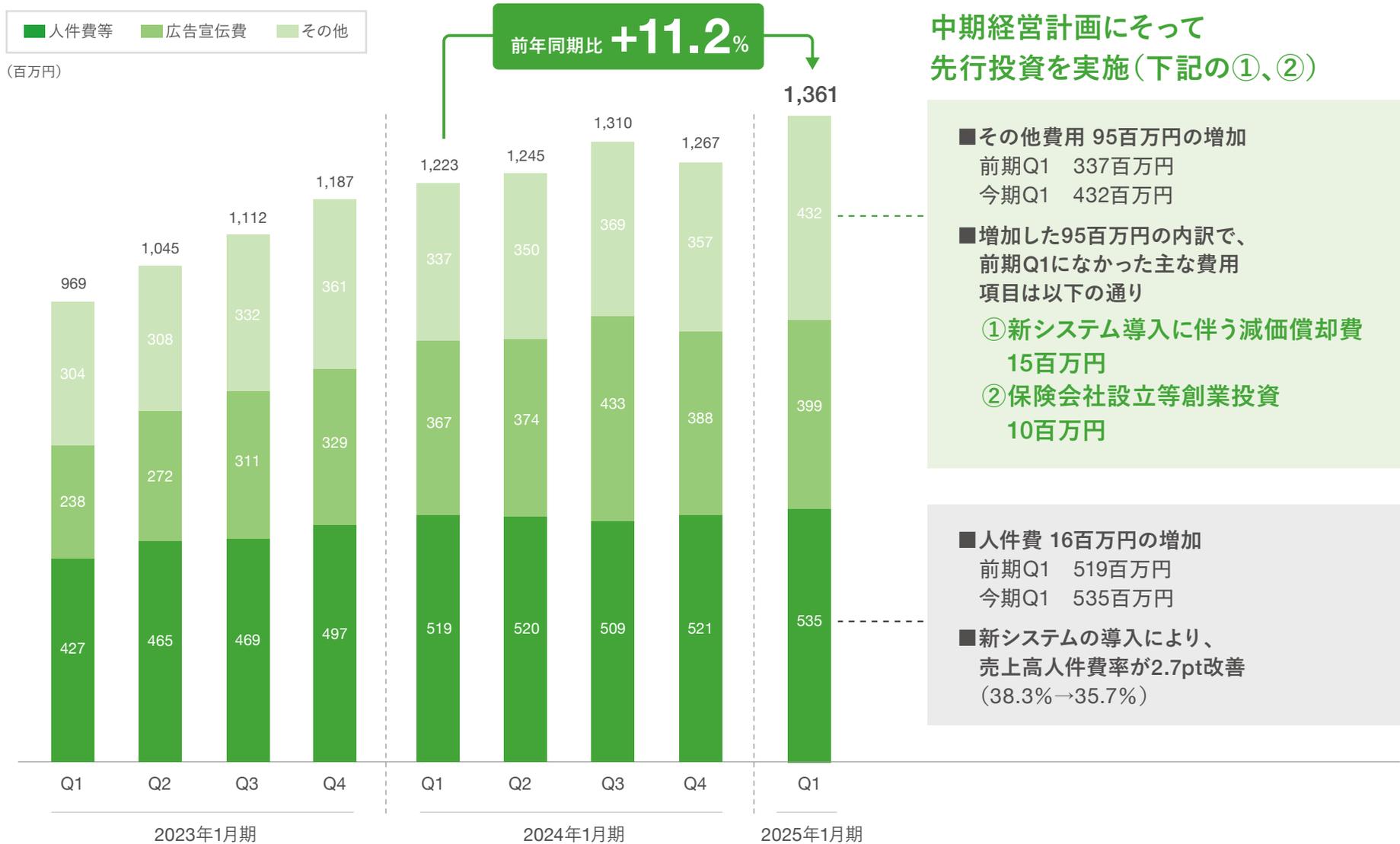
過去同様に、お墓事業と官民協働事業において季節性がみられた。

おおむね計画通りで進捗しており、通期計画の達成を見込んでいる。



# 1 連結決算概要

## ハイライト：主な費用の推移（連結ベース）



## 打ち手：成長事業におけるリカバリー策

アセットマネジメント事業 | 前年同期比増収率： **+5.8%**

課題：WEB経由の集客数が一時的に低下

打ち手  
(Q2)

コールセンターの業務プロセス改善による、成約率の引き上げ。

打ち手  
(下期)

- ①家族信託の受任につながる新たなWEB集客チャネルを開拓。
- ②提携している士業との連携を強化し高単価の相続案件を獲得。

介護事業 | 前年同期比増収率： **+3.9%**

課題：紹介数(受電数)の伸びによって相談員が受電対応に追われ、成約率がダウン(A)

打ち手  
(Q2)

受電対応を抑制し、フォローアップの架電を増やした  
ことにより、成約率が改善。(B)  
足元の売上高は対前年同期比+30%を狙える水準まで回復。

打ち手  
(下期)

増員により、受電数と成約数を増やす。(C)



受電：○  
フォローアップ：×



受電：△  
フォローアップ：△



受電：○  
フォローアップ：○

## 1 連結決算概要

# ハイライト：連結貸借対照表の概況

ソフトウェア勘定が2024年1月末の383百万円から2024年4月末の450百万円に増加。

	(百万円)	2024年1月末	2024年4月末	前期末比
連結貸借対照表	流動資産	3,094	2,876	▲7.0%
	うち現金及び預金	1,992	1,794	▲9.9%
	固定資産	954	1,001	+5.0%
	うちソフトウェア勘定	383	450	+17.5%
	総資産	4,048	3,878	▲4.2%
	流動負債	819	720	▲12.0%
	固定負債	76	77	+1.4%
	純資産	3,152	3,079	▲2.3%
	うち資本金	1,057	1,057	—
	うち自己株式*	▲1,336	▲1,336	—
	自己資本比率	77.8%	79.5%	+1.7pt

\* 2022年1月13日付開示、2022年12月9日付開示及び2023年10月12日付開示の株主還元策(自己株式取得)によるもの

# 1 連結決算概要

## お墓仏壇事業 セグメント実績



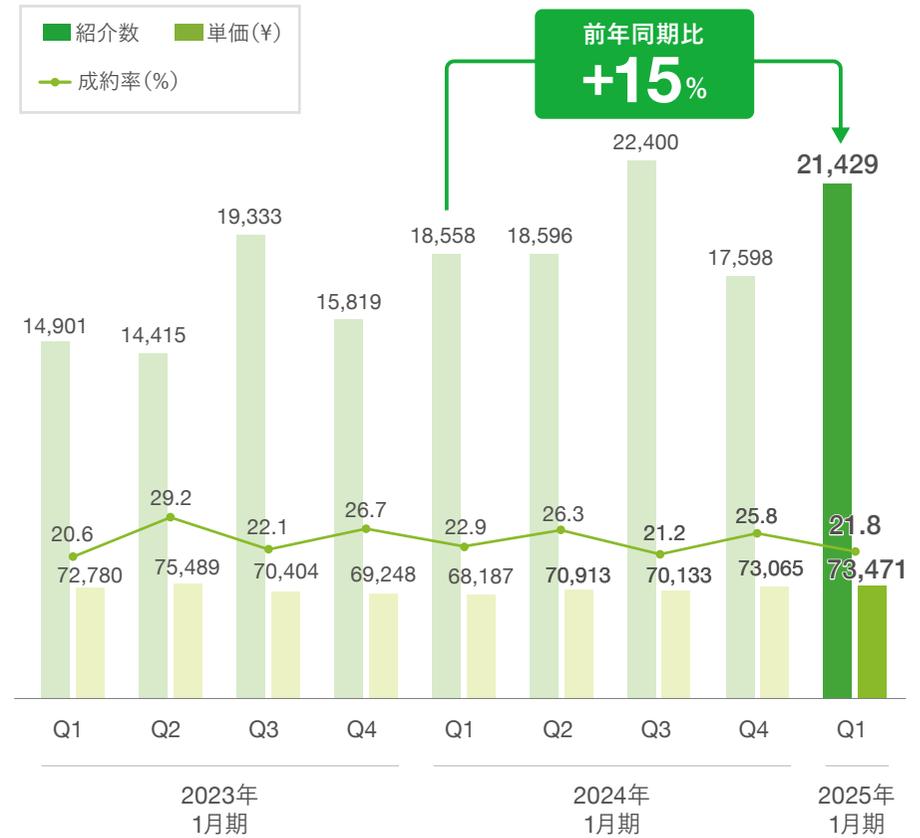
お墓は紹介数が同+15%と2桁成長で安定的に推移。

仏壇は前年同期比マイナスで課題感が残るものの、墓仏合算の売上高は同+5%。

売上高 四半期推移



お墓斡旋事業の状況



※上記成約率は、当四半期成約数/当四半期紹介数を表示、紹介から成約までのリードタイムが数ヶ月あるため、あくまでも参考指標として掲載しております

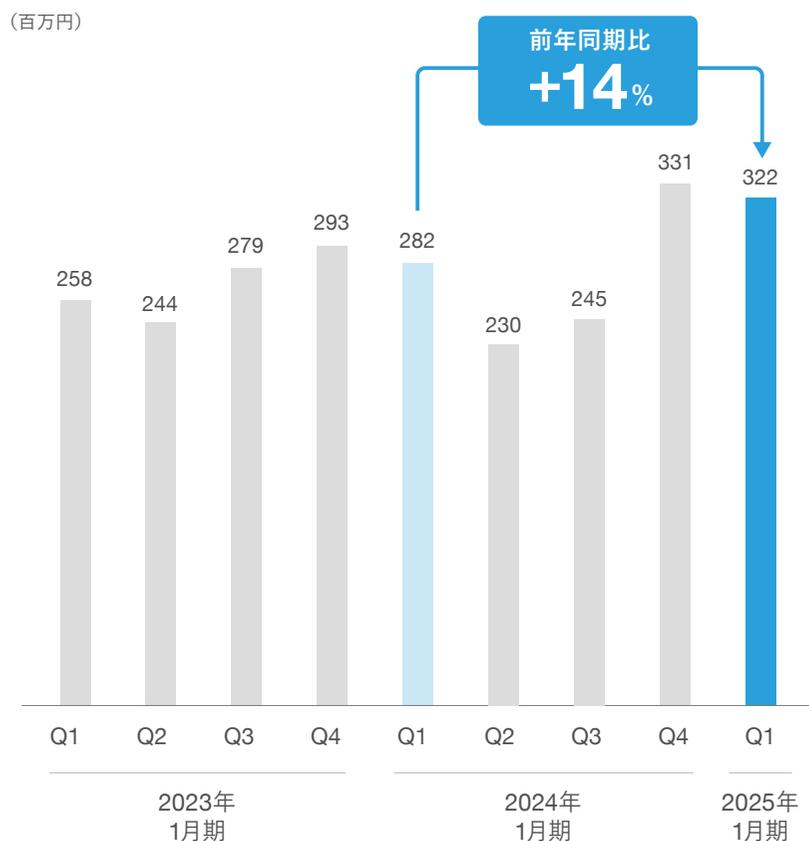
# 1 連結決算概要

## 葬祭事業 セグメント実績

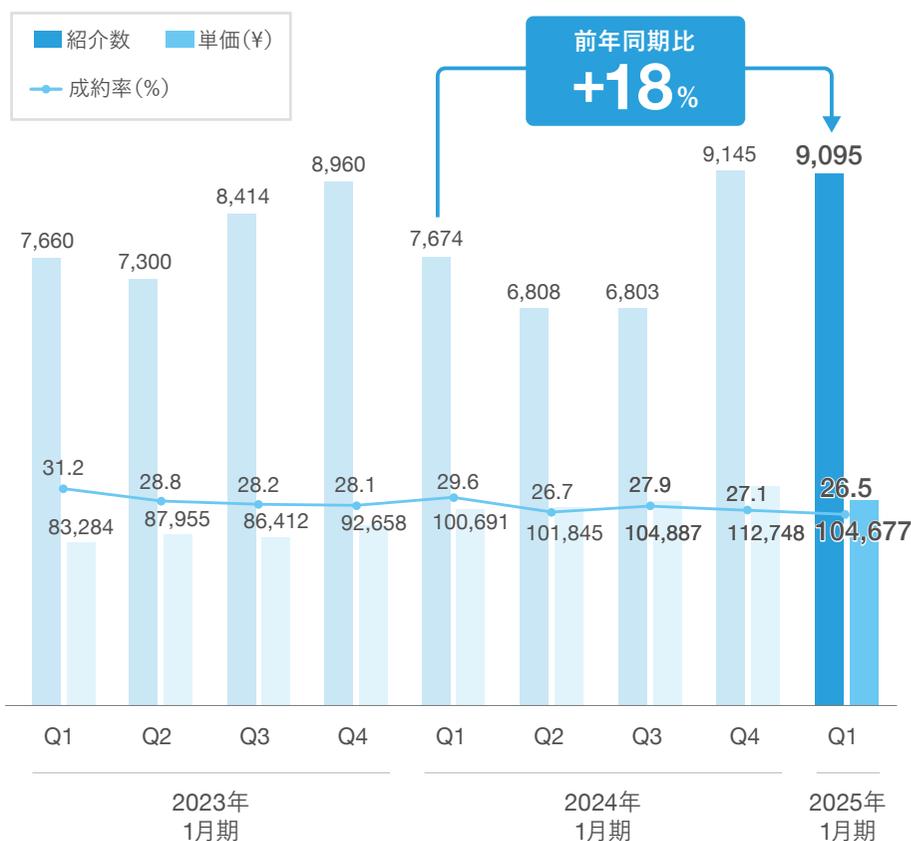


前期の低迷を受けて実施した打ち手(オペレーションの改善、手数料単価の引き上げ)が奏功している。紹介数、単価ともに前年同期比で伸び、売上高は同+14%。

### 売上高 四半期推移



### 葬祭斡旋事業の状況



# 1 連結決算概要

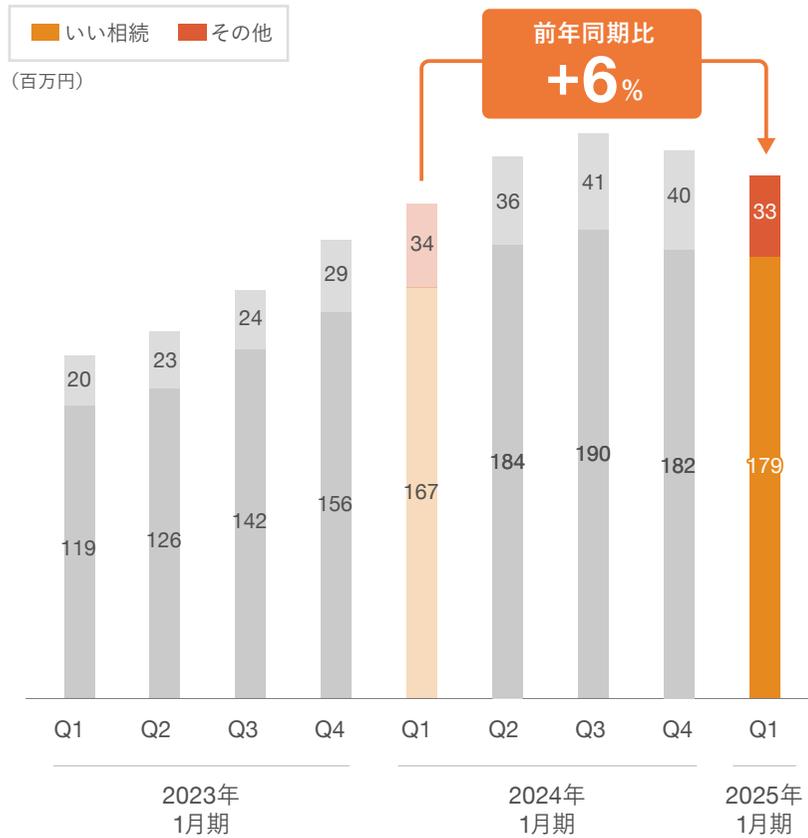
## アセットマネジメント事業 セグメント実績

### いい相続

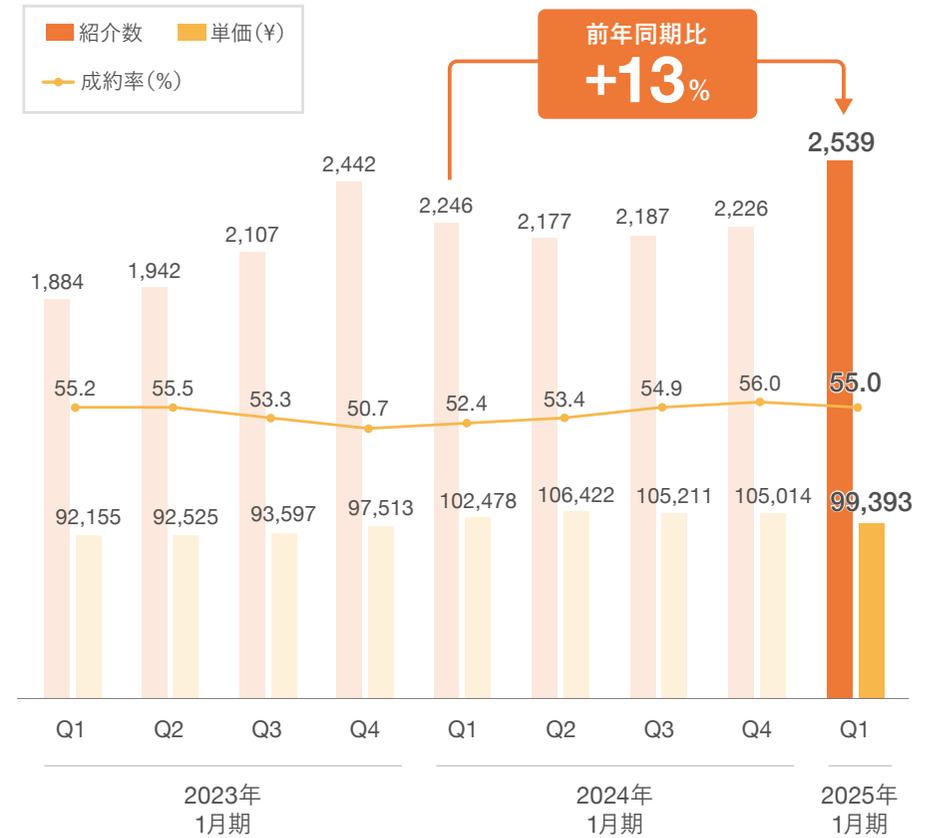
### いい相続不動産サポート

売上高は前年同期比+6%と伸びが鈍化。紹介数は同+13%となるも、高単価案件が減少したため。足元の売上高は回復基調。

売上高 四半期推移



相続斡旋事業の状況



※アセットマネジメント事業は、従前の相続事業部と不動産事業と保険事業を合算したもの  
 ※今までは紹介数として受電した相続アポ数を記載していましたが、他事業部との平仄を合わせるため、今回にて実際に土業と面談が実施された面談数に変更しました  
 それに伴い過去の紹介数も変更しておりますがご了承ください

# 1 連結決算概要

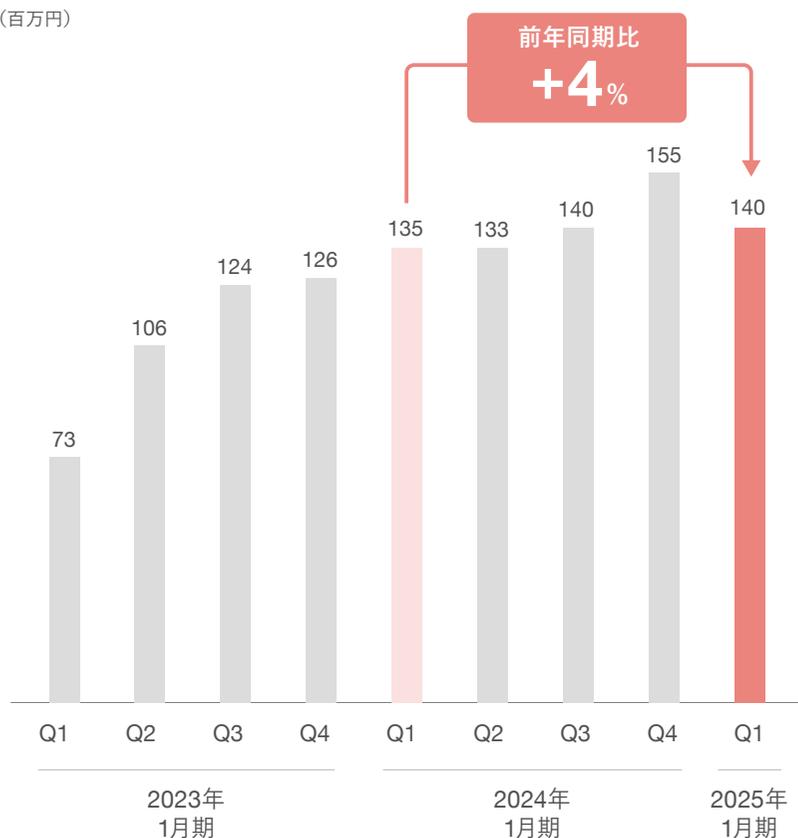
## 介護事業 セグメント実績



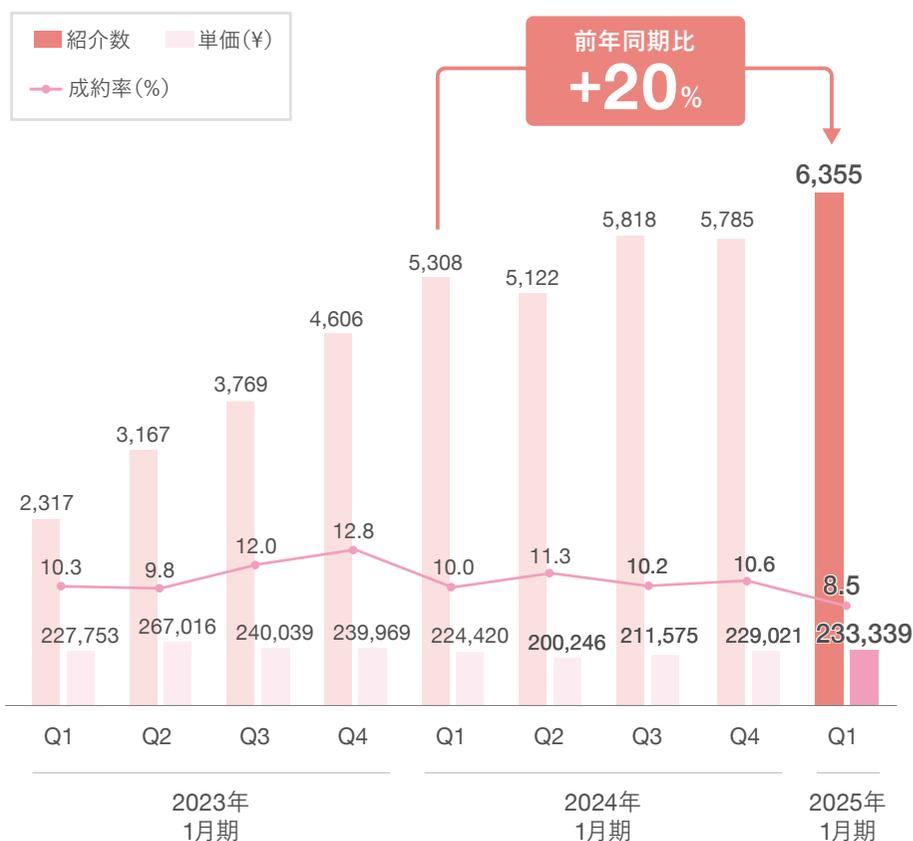
売上高は前年同期比+4%と鈍化。紹介数は同+20%となるも、対応人員不足により成約率が8.5%に低下。紹介数を意図的に抑制することで、フォローアップが可能になり足元の売上高は回復基調。

売上高 四半期推移

(百万円)



介護斡旋事業の状況



# 1 連結決算概要

## 官民協働事業

2020年に内閣官房によるガイドライン策定で始まった全国自治体における「おくやみコーナー」の開設に伴う様々なニーズに応え、全国の自治体と提携を開始、4月末時点の人口カバー率は49%と過半にせまる。

提携自治体人口カバー率の拡大



2024年4月30日現在

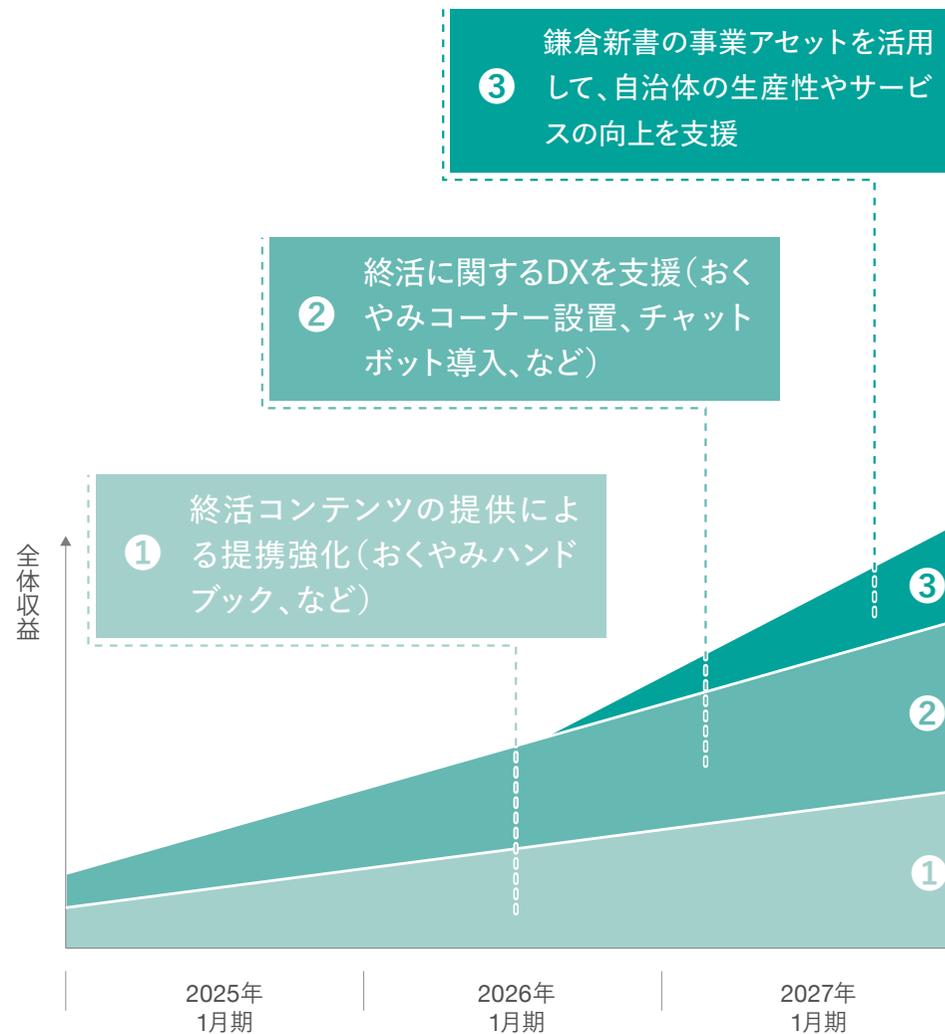


地方創生 SDGs  
官民連携  
プラットフォーム



私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

中期経営計画における取組みイメージ



# 目次

---

1 連結決算概要

**2 中期経営計画(2025年度～2027年度)**

3 会社概要

## 2 中期経営計画(2025年度～2027年度)

# 長期ビジョン・中期経営計画(2025年度～2027年度)の位置付け

デジタル活用(IT化プロジェクト)によるクロスユースの拡大がカギ。

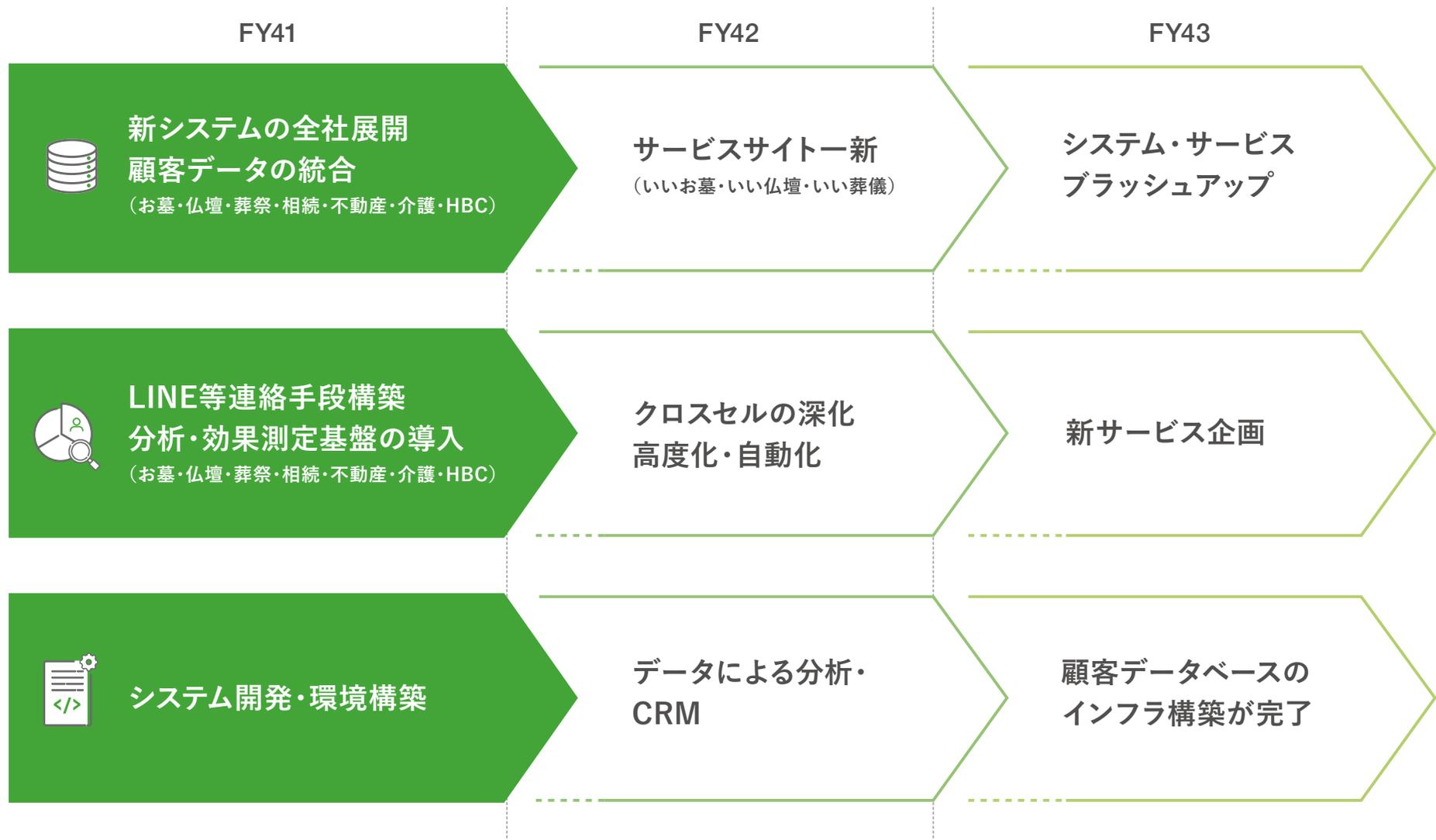
### 長期ビジョン



2 中期経営計画(2025年度～2027年度)

## 中期経営計画(2025年度～2027年度)におけるIT化プロジェクト(1)

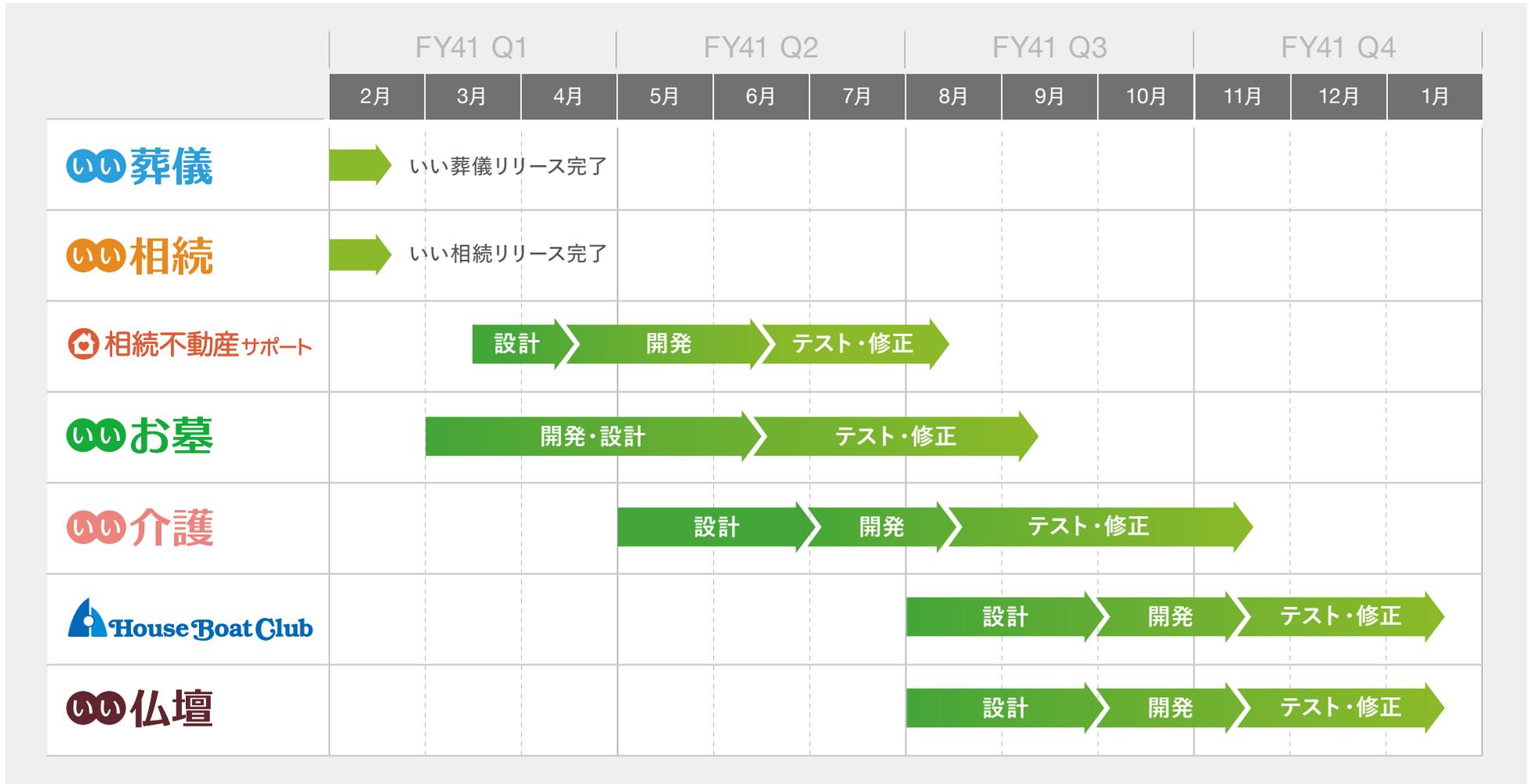
今期中に、前期から着手した新システムの導入を完了し、全事業部で個別に保有、管理している顧客データを統合する。



2 中期経営計画(2025年度～2027年度)

## 中期経営計画(2025年度～2027年度)におけるIT化プロジェクト(2)

事業部ごとに保有している顧客データを、同一のシステムに乗せて統合していく。



## 中期経営計画(2025年度～2027年度)における主な取り組み

クロスユースの強化・集客チャネルの多様化・サービスの拡充を通じて終活インフラを構築する。

### 3年における取組内容

#### クロスユースの強化

デジタルを活用した  
ユーザとの接点強化・  
効率的なサービス提供

- 顧客との継続的な接点
- デジタル主体のコミュニケーションへ
- 有益な終活メディア・コンテンツの提供
- Webサービスの提供
- 共通の顧客データベースを構築



#### 集客チャネルの多様化

他社とのアライアンスを  
通じ、終活の入口から  
利用者と繋がる

- 集客チャネルの複線化(オンライン+オフライン)
- からだ領域(居宅介護・介護施設)での顧客との接点強化
- リアル店舗での顧客との接点強化
- 中長期を見据え自治体との連携強化



#### サービスの拡充

「家族の終活」を中心とした  
新サービスの拡充

- 既存ビジネスの更なるサービスの高度化
- お金・からだ・こころの3領域でのサービス展開
- 生前領域での新たなサービス開発

## サービスの拡充(とくに生前領域)について

高齢者予備軍を含む、すべての利用者と多様な終活マーケットのプレイヤーをつなぐ終活インフラの実現を目指す。



# 目次

---

1 連結決算概要

2 中期経営計画(2025年度～2027年度)

**3 会社概要**

### 3 会社概要

## 会社概要

会社名	株式会社鎌倉新書
代表者名	代表取締役会長CEO 清水 祐孝 代表取締役社長COO 小林 史生
設立日	1984年4月17日
資本金	10億5,748万円
所在地	本社：東京都中央区京橋2-14-1 兼松ビルディング3階 支店：大阪／名古屋／福岡
従業員数	254名 (契約社員、パート、アルバイト含む)(フリーランス、業務委託を除く)
事業内容	高齢社会に向けた終活関連サービス事業 マッチングプラットフォームとなるポータルサイト運営を中心とした、 終活に関わる情報サービスの提供
グループ企業	株式会社ハウスボートクラブ 株式会社エイジプラス 株式会社鎌倉新書ライフパートナーズ



※2024年4月30日現在

### 3 会社概要

## 鎌倉新書のビジネスモデル

高齢者とその家族の「終活」における、あらゆる希望や課題を解決するための情報とサービスを提供することで「終活インフラ」を構築し、我が国の高齢社会に貢献してまいります。



## 免責事項

---

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。

市場環境や業界動向、その他内部・外部要因等により変動する可能性があります。

実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。